

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 234 号 2017. 10. 25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

自然農法活動！ 田んぼのお手伝い

東京都 吉野香絵

今年初め、自然農法活動に取り組ませていただくと考えたとき、できるだけ生産現場に足を運ばせていただくよう決めました。複数の圃場に行かせていただくなかで、夏に長野の堀さんのお手伝いに行かせていただきました。

私がお手伝いした水田は昨年、稲を植えたのですが、雑草のクログワイが多発生したために、収穫を断念したそうで、今年の除草に対する意気込みは格別だと、毎年お手伝いに来ている方から聞きました。除草はずっと中腰で行うために、2泊3日のお手伝いが終わるころには、全身筋肉痛でうまく歩けない状態でした。こんなにも大変な作業を長年されているのかと、生産者に本当に頭がさがる思いでした。



そして、お手伝いさせていただいた圃場が今年勝負の年だと聞いたとき、自分で勝手に始めた自然農法活動ですが、人手が必要なときに、たまたま自分が使われたのではないかと感じました。

10月8日、稲刈りの手伝いに行かせていただいた際、作業は大変でしたが、上述の圃場の稲穂がきれいに実っているのを見て感動しました。

今年のわずかなお手伝いを通して、生産者の苦勞を知ったと言えればおこがましいですが、大変さを少しでも感じられたことは良い経験だと感謝しております。

真の美しさは毎回の食事から 東京都 大山朋子

4、5年前に、小学校時代の同窓会に参加した息子から、Yさんは食事にとっても関心があるらしいから、いつか無施肥無農薬栽培のことを話したい、と聞きました。

今年の春、偶然家の近くでYさんに声をかけられましたが、モデルみたいにきれいな若い女性に、一瞬誰だかわかりませんでした。息子の言葉を思い出し、食についての話をしました。偶々持っていた無施肥無農薬のほうじ茶をぜひ飲んでみてと、農薬の怖さの話をして差し上げました。すぐにYさんから息子に「ほうじ茶がおいしかったからまた欲しい」と言われ、お渡ししました。その後、できればまとめて他の種類のものもあれば欲しいと連絡があり、東中野の販売会場にお連れしました。紅茶、煎茶、ほうじ茶とまとめて購入されました。

そのときYさんから、なぜ食に関心をもったか聞きました。「以前、自分はミス・ユニバースの日本代表選出で、決勝に進むファイナリストの一人に選ばれ、決勝にむけてのビューティーキャンプで、食事の大切さを学んだから」とのことです。また、「自分は食べないほうが良いと思っていたが、マンツーマンの指導で講師から、あなたはもっと食べなさい」と言われたこと、ただし、なんでも食べればいいのではなく、インスタントやファストフード、コンビニ弁当ではなく、きちんと作られたもの、添加物などの少ないものを食べることを教わり、「今まできちんとした食生活をしてこなかった自分は、日本代表に選ばれ



ないと思い、キャンプ中に栄養士の資格を取ろう」と決意され、その後、Yさん自身がビューティーキャンプの栄養士の講師として参加するようになりました。そこに参加するファイナリストたちには、自分が食べた食事の記録をつけて参加するように、と指導していたそうです。その記録をみて、その人の性格、今年はこの人が代表になるかもしれない、とまで予想がついたそうです。

今の若い人は、ファストフードなどジャンクフードを食べることが多いので、心が一定ではなく、浮き沈みが激しいと教えてくれました。食は食欲を満たし、体を形成するだけでなく、心を養うものだと気づいたと教えてくれました。きちんとした食事は心だけでなく、内面から出る美しさ、心の安定に必ず必要なもので、自分できちんと出汁をとり、食材に気を付け、手をかけた食事を作っているそうです。毎回の食事がそんなところにまで影響するのかと、びっくりしたとともに、今後の無施肥無農薬栽培の普及に力強い後押しをもらえたと思っています。

グループにて食べ塾を！ 東京都 町田俊明

2013年より始まった「食」のお伝え活動「食べ塾」ですが、今年の夏に、8月の足立区六町地区の「九重会」(TOREKのシニアの方々)で、「食」のお話しませんかと声をかけていただきました。8月27日、日曜日だったこともあり、皆さんと一緒に考えようということさせていただきました。

「六町九重食べ塾」には4名の方が参加されました。皆さんそれぞれに人生の大先輩ですので、食に対しては向き合ってきたようです。しかし年齢と共に調理することが負担になってきたり、買い物のときも、原材料を見ても字が小さすぎてよく見えなかったりと、ご苦労されているようです。この日は大きめのフィリップを使って、食べた物が体にどのような影響を及ぼすのかを一緒に考えて、「自然農法の野菜から栄養も愛情もたっぷり摂りたいですね」と終わりました。

翌9月には「桃の実」(TOREKの若いお母様方)でもやりましょうと話が進み、25日にさせていただきました。さぞかし、食がお子さんの成長に影響があることなどに話が弾むのかと思いきや、自宅の庭やベランダで自然栽培をやりたいとの話で盛り上がり、用意していた「食」のお話は半分くらいしかできませんでした。(笑)

同じような話をあちこちでさせていただいてますが、その都度、皆さんが驚かれる様子に、伝え方の足りなさを感じています。これからも草の根的に、丁寧にお話をして、たくさんの方と一緒に考えていきたいと思っています。



お知らせ

★ 自然農法農産展 11月3日(祝)展示 / 11月19日(日)販売
食のあふれている今、人を生かす生命力ある食べ物は一体どれほどあるのでしょうか。「本物を食べる。作る。考える。未来につなげよう! TOREK 自然農法」をスローガンに取り組んでいます。(販売予定はチラシをご覧ください)

★ 自然栽培フェア 2017 10月28日(土)、29日(日) 中野セントラルパーク 10:00~16:00
★ 自然農法頒布会 11月15日(水) 鎌ヶ谷会場 11:00~
★ 自然農法頒布会 11月15日(水) 三咲会場 10:00~14:00
★ 自然農法頒布会 11月18日(土) 白井会場 10:00~14:00
★ 鎌ヶ谷むせひ屋頒布会 11月26日(日) 鎌ヶ谷特設会場 セミナー開催 11:00~

無施肥無農薬栽培物の販売予定 11月3日 於：伊都能売会館
生産者の方々が直接販売されます。 東京都八王子市長房町57 042-665-6369

- 市川生産グループ：煎茶、ほうじ茶、ほうじ茶ティーバック ● 長柄山自然農園：卵、ピーマン
- きじま平自然農産：自然米、納豆、甘納豆、ブルーベリージャム
- 菜園金野：サツマイモ、ダイコン、サトイモ、小松菜
- 中島農園：自然のリンゴ、長ネギ、ホウレンソウ、小松菜、チンゲンサイ、春菊、ジャガイモ、梅干
- ジョリフィユ：マドレーヌ、クッキー、プリン 他

お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX：03-3369-3324 e-mail：naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 http://www.torek.jp

